

# 武庫川周辺阪急新駅エリア まちづくりビジョン説明会



# 本日の流れ

---

① これまでの経緯

② まちづくりビジョンについて

③ 質疑応答

※全体で1時間程度を予定

# まちづくりビジョン策定までの経緯

---

- 平成28年、令和3年  
(仮称)武庫川周辺阪急新駅に関する検討報告書
- 令和4年 アンケート調査、説明会  
交通量調査（詳しく説明）
- 令和5年 えきまちづくり勉強会

# はじめに

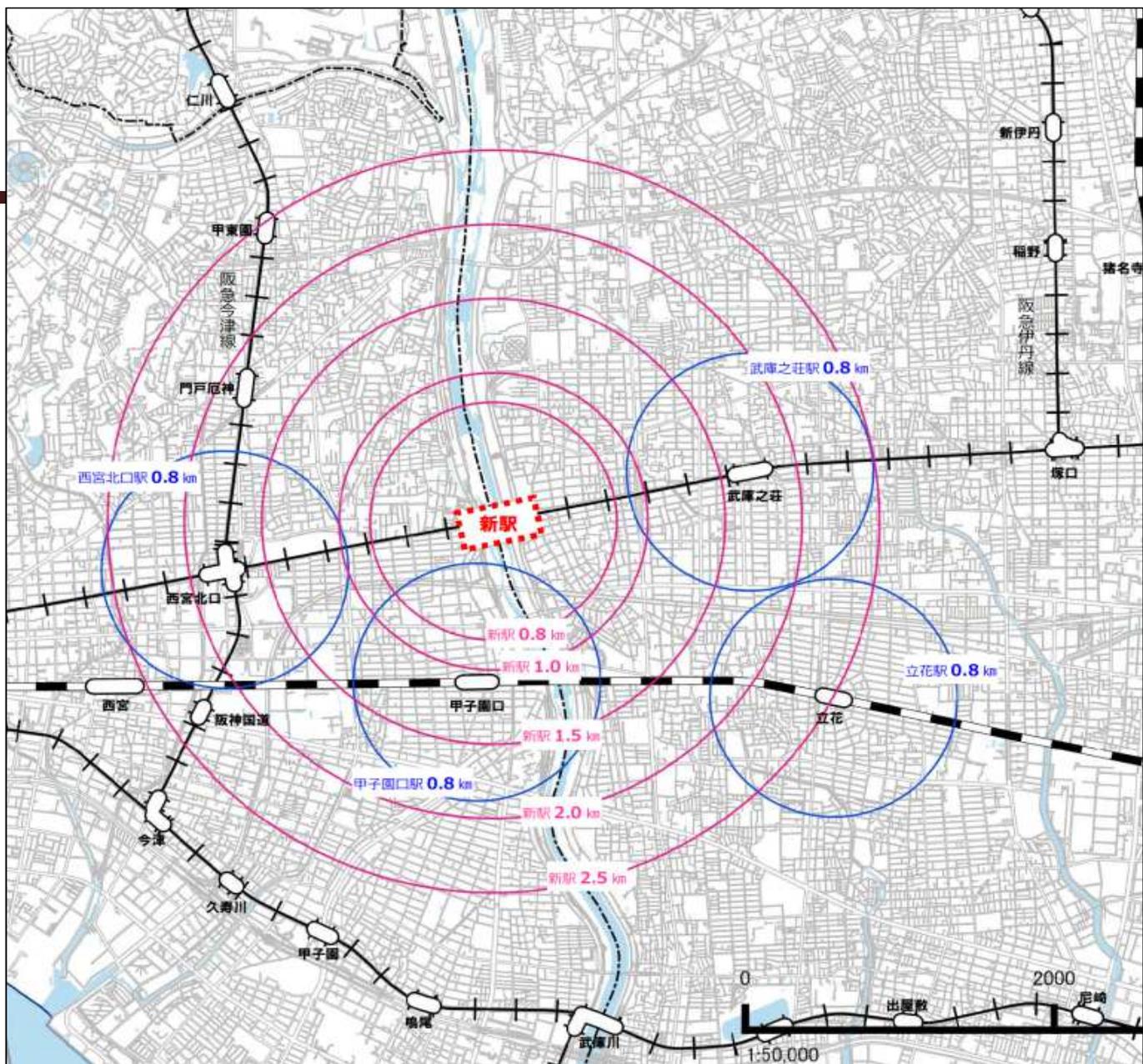
## 阪急神戸本線

武庫之荘駅 (尼崎市)

～西宮北口駅 (西宮市)

の駅間 約 3.3 km

阪急神戸本線の  
中で最も長い



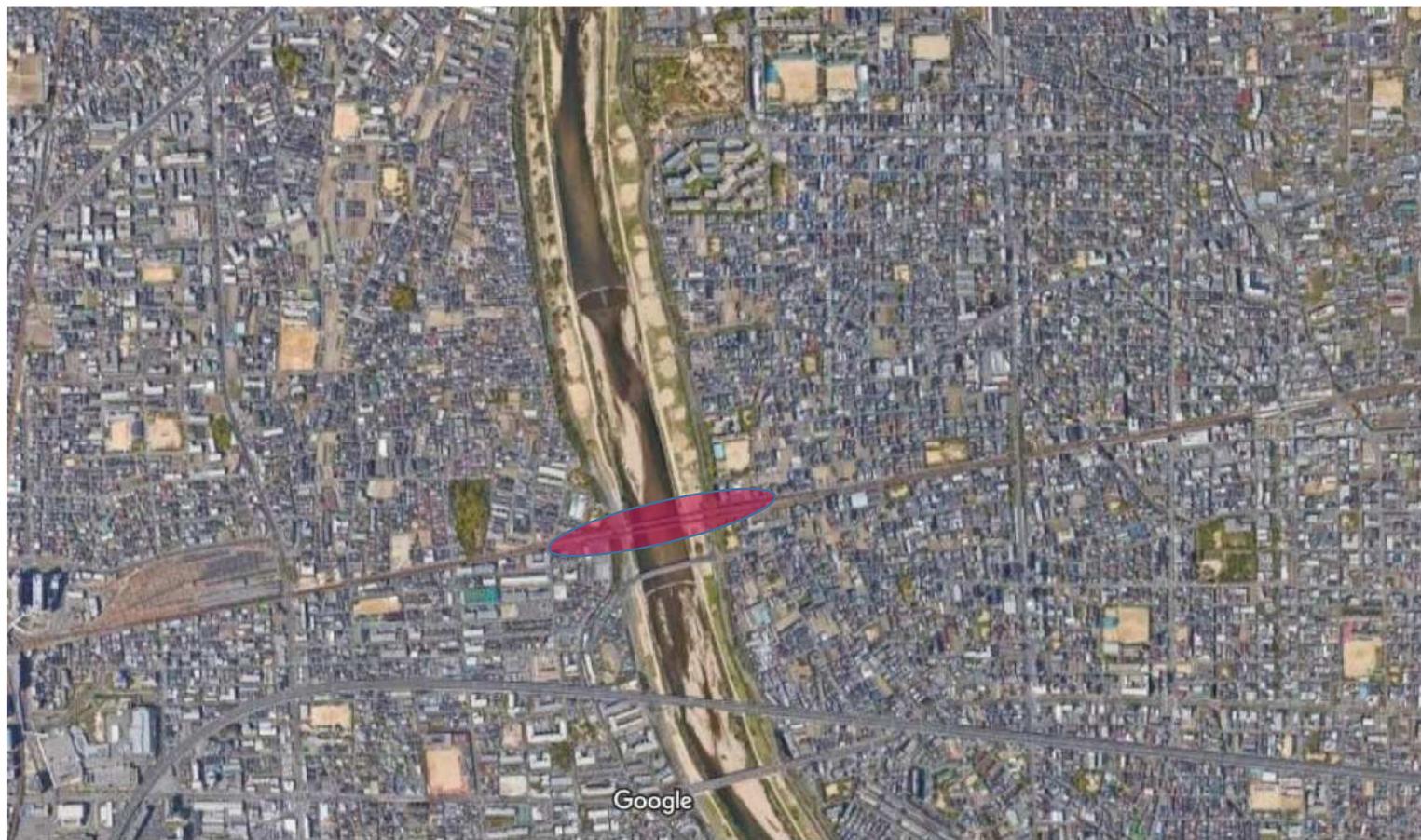
# 昭和23年

## 国土地理院撮影の空中写真（昭和23年撮影）



# 令和5年

## Google map空中写真



# 新駅の効果

- 交通の利便性が向上
- 駅を中心とした周辺地域の社会基盤整備
- 駅周辺の土地利用等を誘導・再生

→ 都市の持続可能な発展に寄与

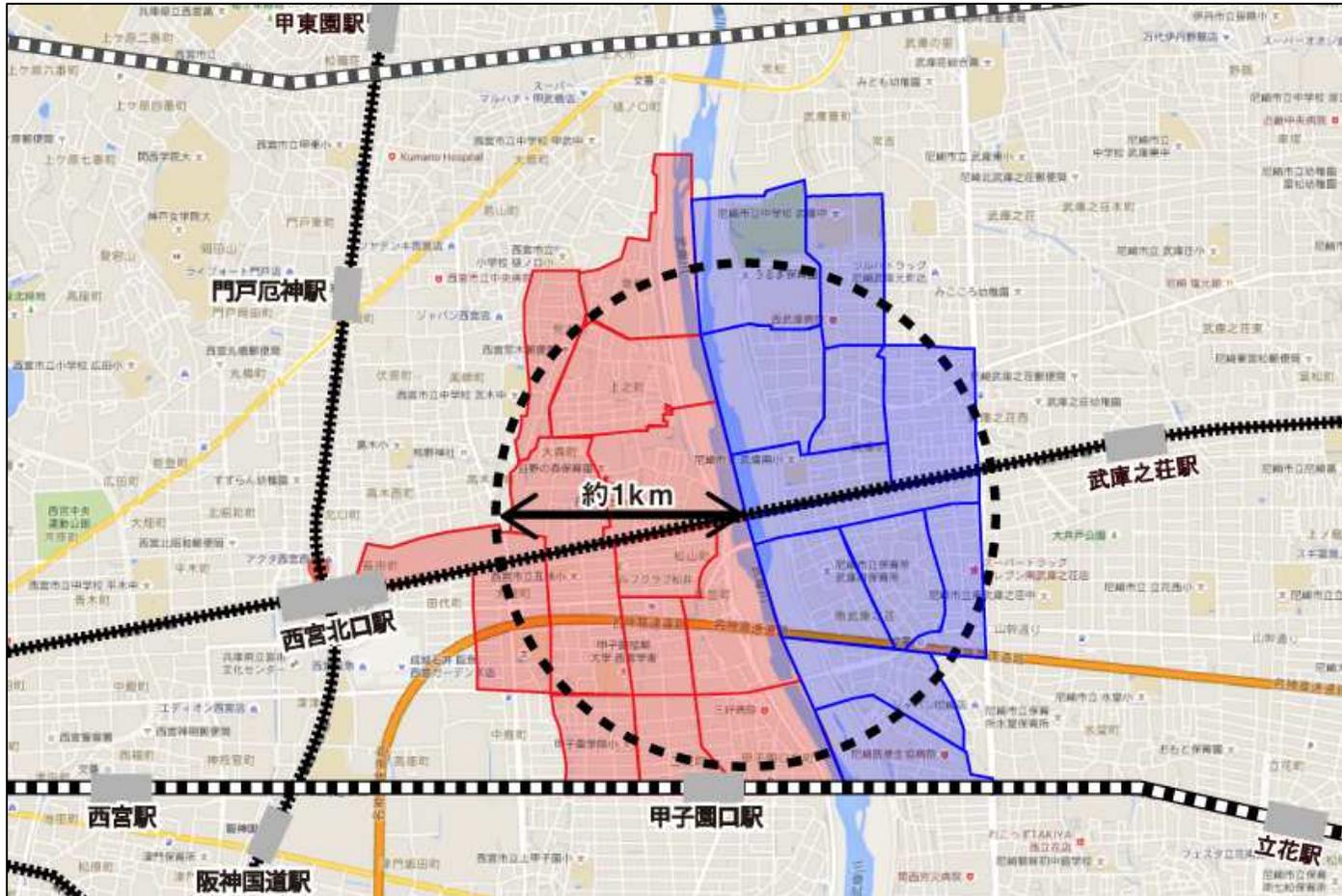
- 自動車から公共交通への転換
- 徒歩、自転車、公共交通等の各モードが連携

→ 脱炭素社会の実現に寄与



# 事業効果の検討（令和3年報告書）

## 周辺地域（新駅から概ね1km圏域）



# 事業効果の検討（令和3年報告書）

## 周辺地域（新駅から概ね1km圏域）

検討事項	西宮市	尼崎市
将来人口の差 ・ 周辺地域（下図参照） ・ H22 国調基準とした R7 推計	9 1 5 人 増 ⇒ 増加傾向が顕著	8 7 1 人 増 ⇒ 減少に抑制効果
税収見込みの差 ・ 周辺地域（下図参照）	計 約 2 億 円 ／年 増	計 約 1 億 2, 2 0 0 万 円 ／年 増
(内訳)		
個人市民税	約 1 億 2, 0 0 0 万 円	約 5, 1 0 0 万 円
固定資産税・都市計画税	約 8, 0 0 0 万 円	約 7, 1 0 0 万 円
新駅への転換利用者人数（乗降）	1 0, 3 6 7 人	1 2, 2 5 6 人
自転車利用台数	7 8 9 台	2, 0 3 1 台

# 新駅利用者の流れ（R3報告書による）

- ・ **新駅が出来ると**

約6,000人/日の利用者

歩行者 約4,000人（割合にかえるほうがよい？）

自転車 約2,000台

車 約200人

- ・ 既存の通過交通と新駅への交通が重なる

→① **通過交通の排除が重要**

- ・ 新駅への交通（通勤、通学）と小学校

児童の登下校時間が重なる

→② **新駅周辺の通学路安全対策が重要**

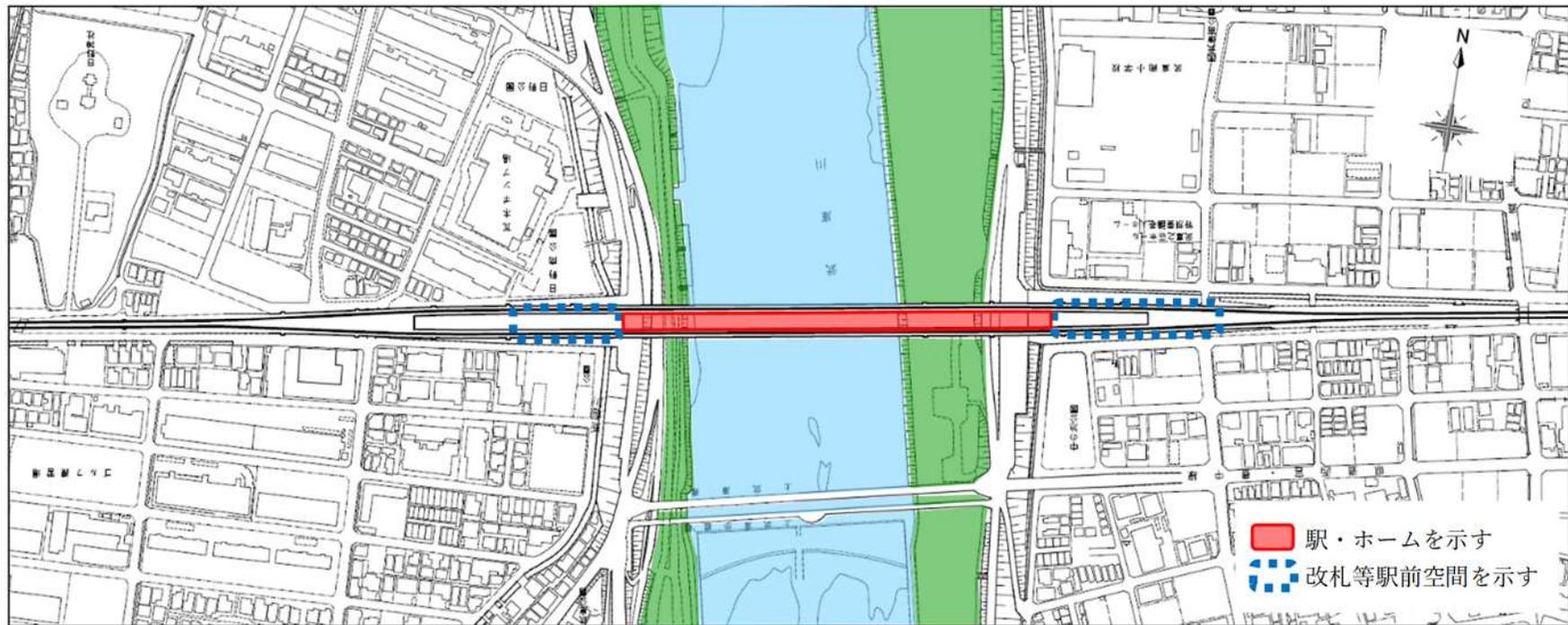
# 事業概要の検討（令和3年報告書）

## 新駅設置によって見込まれる効果

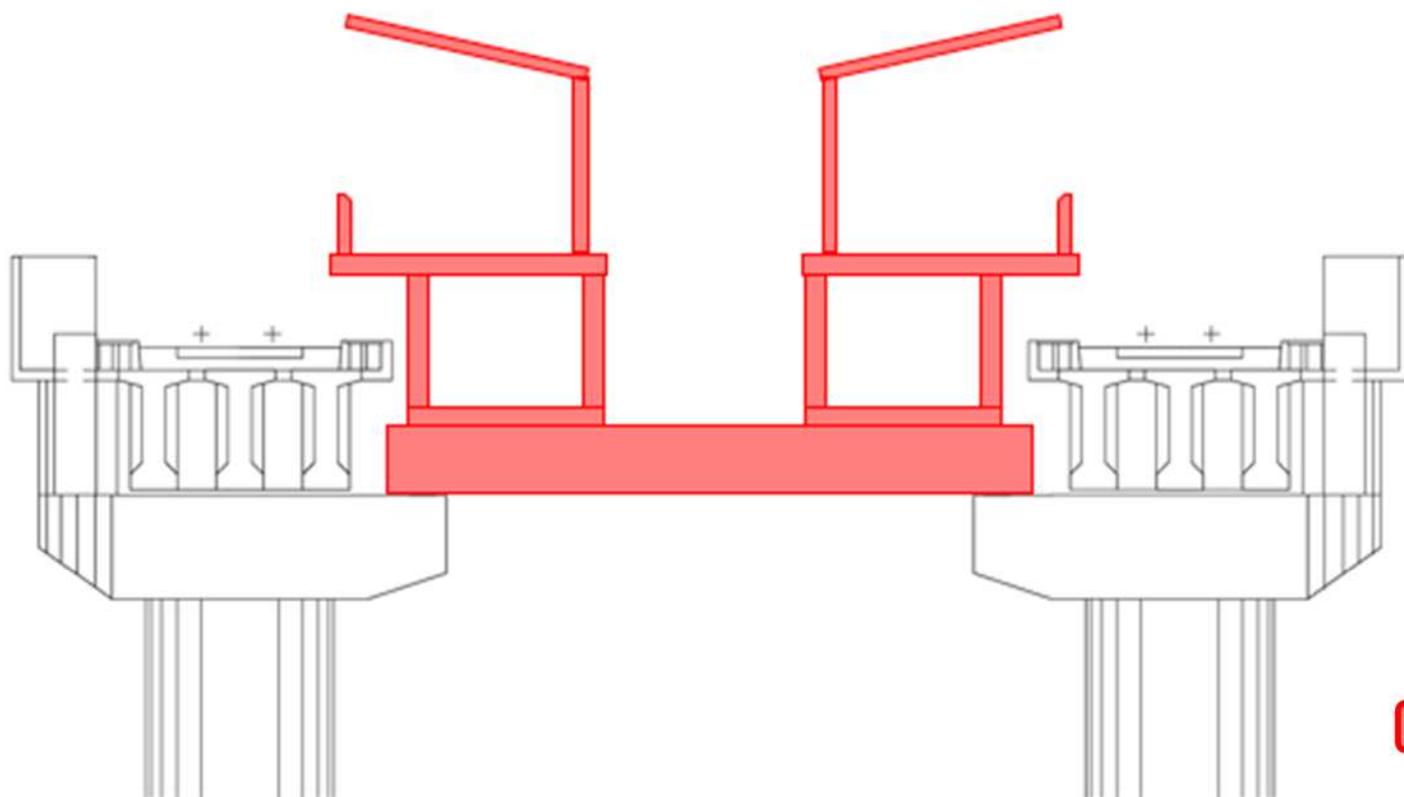
分野	尼崎市
人口	まちの魅力向上による転入増加
環境 ・ 交通	鉄道分担率の増加と都市圏アクセスの向上 多様な交通モードの連携によるモビリティ・マネジメントの推進 近隣駅の負担軽減
住環境	低未利用地（空き地等）などスプロール化の解消誘発 都市農地の適切な保全による「都市と農」の共生
地域	南北の地域間交流の活性化 地域コミュニティの活性化
防災	鉄道施設の利活用による新たな防災性向上

# 鉄道施設整備の方向性

- ・ホーム : 2面ホーム
- ・改札口 : 2箇所（両岸）設置
- ・安全対策設備 : 可動式ホーム柵、各種ホーム保安設備等
- ・その他設備 : エレベーター、エスカレーター等



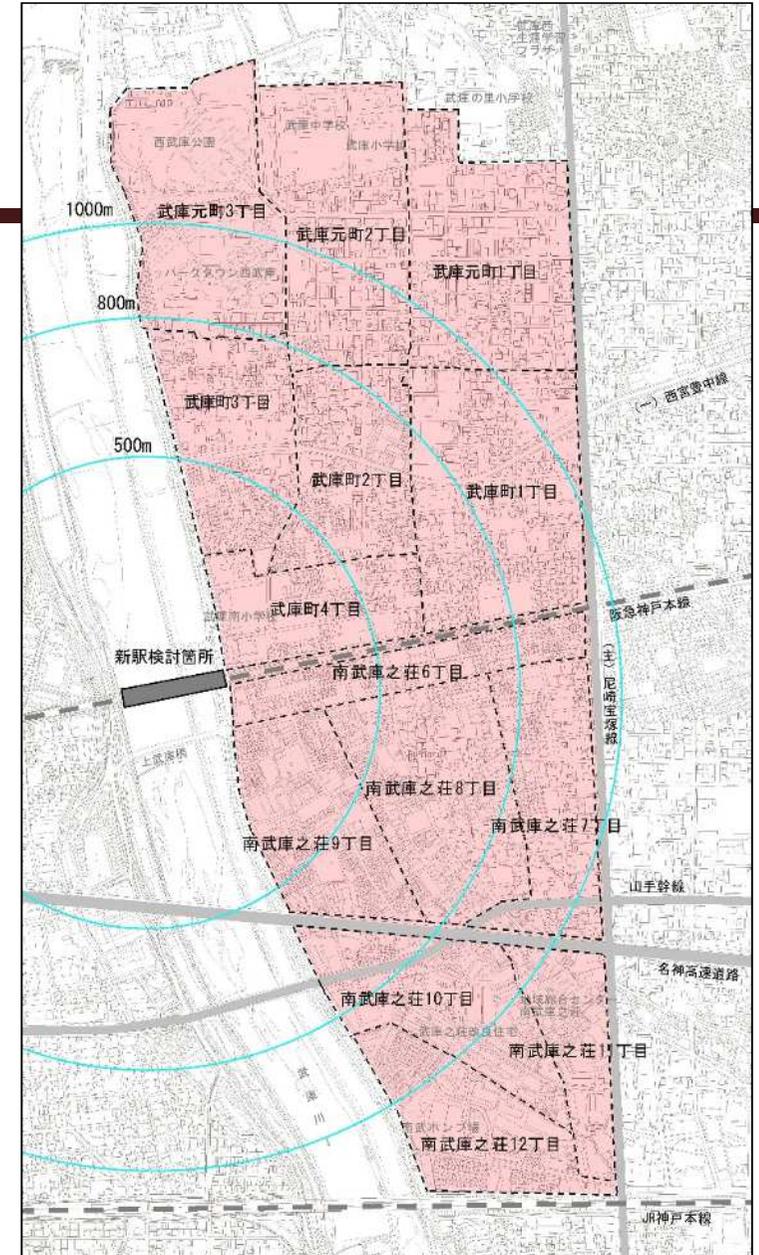
# 鉄道施設整備の方向性



 ホームを示す

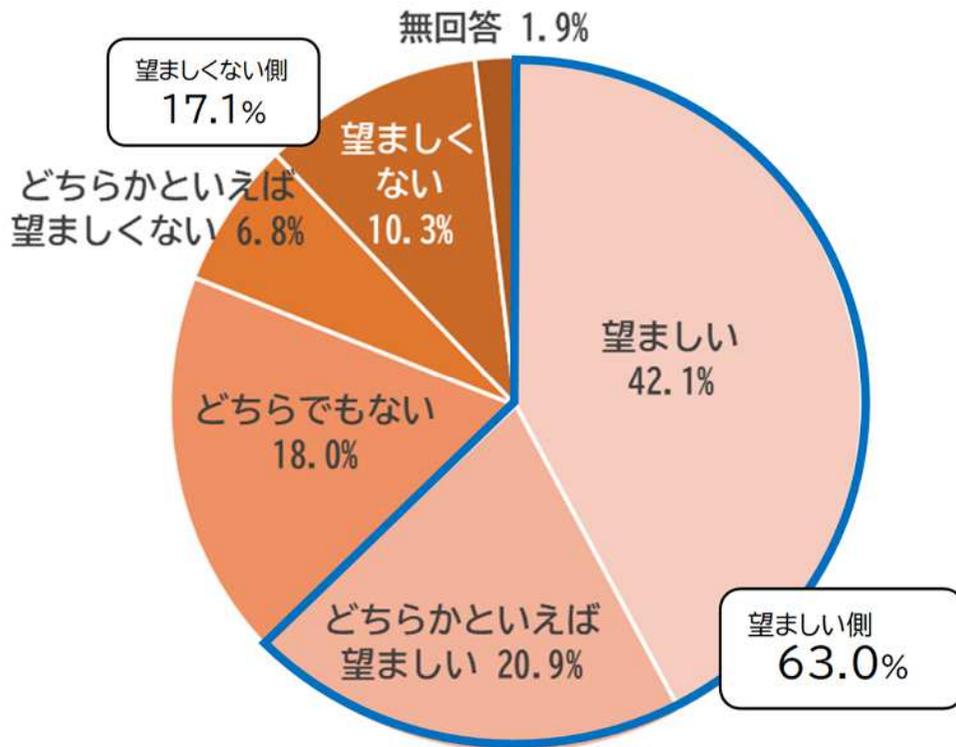
# 新駅アンケート調査結果

- 調査期間 令和4年8月
- 調査範囲  
新駅検討箇所から概ね  
半径1 kmの範囲
- 配布数 11,845件
- 回収数 3,732件  
(回収率31.5%)



# 新駅アンケート調査結果

## ・新駅の設置についてどう思うか



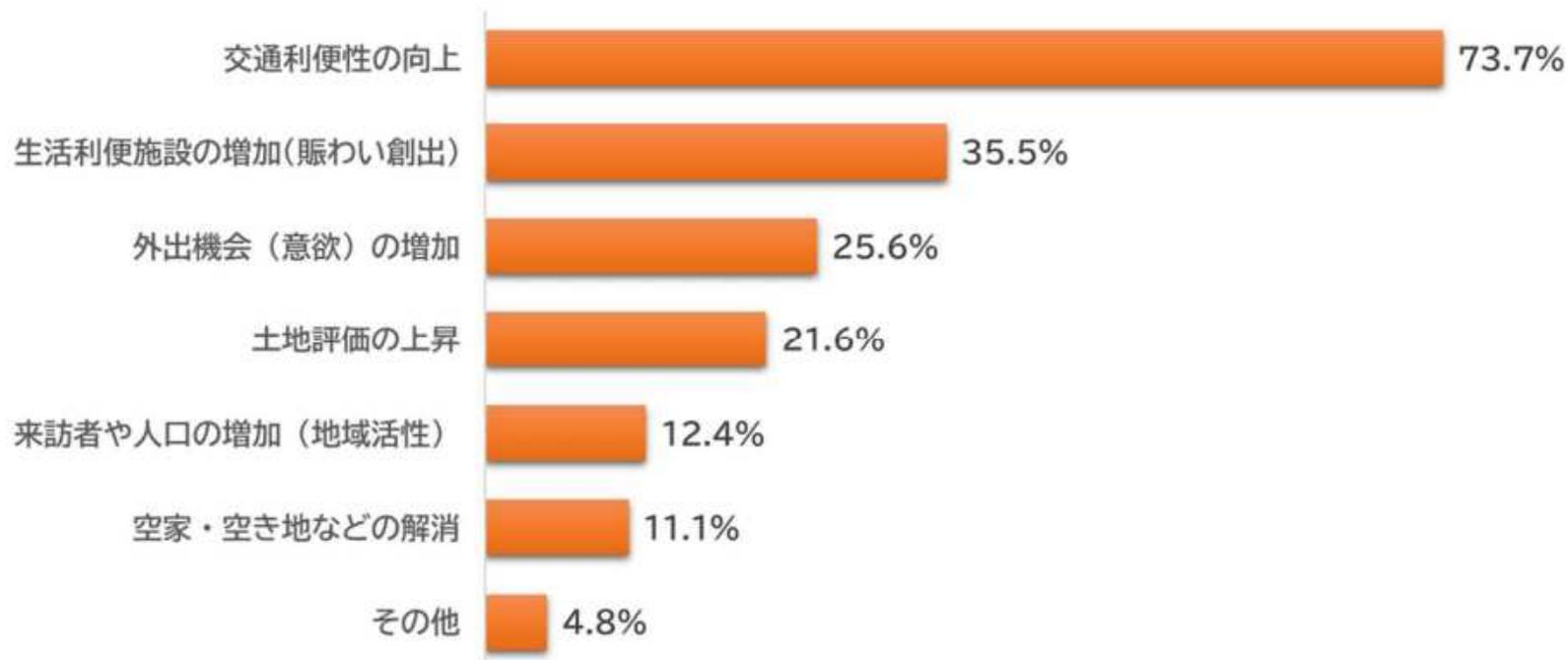
・新駅に近いほど、望ましい側の傾向が高い

・若い年齢層（15～44歳）ほど、望ましい側の傾向が高い

# アンケート調査

## ③ 新駅が設置されるとすれば、なにを期待するか [複数回答]

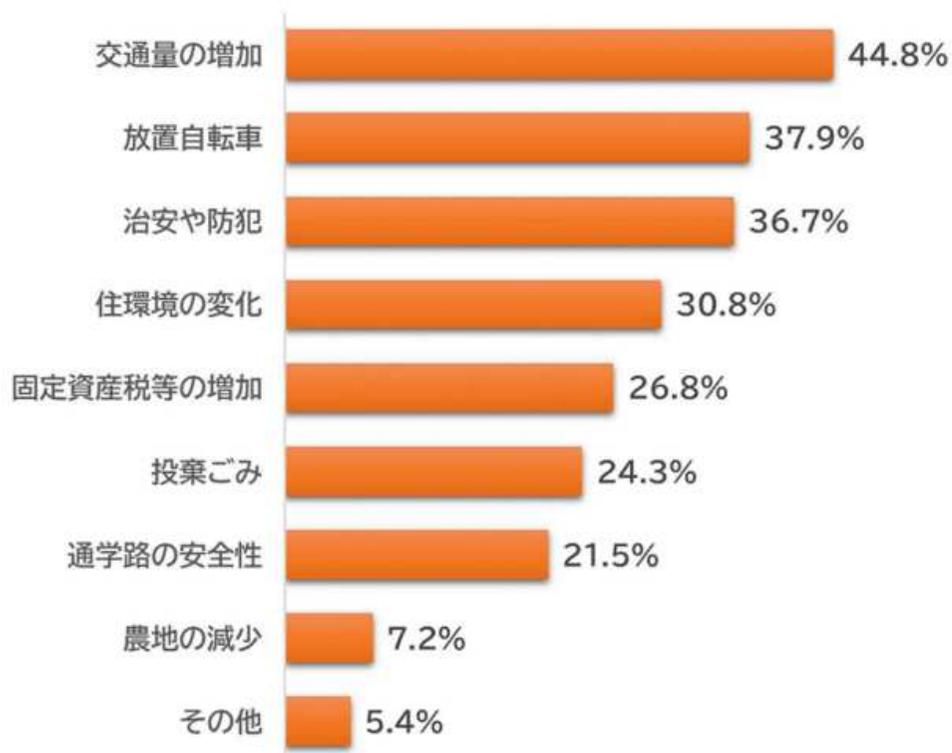
新駅に期待する事として、「交通利便性の向上」の割合が73.7%と最も高く、次いで「生活利便施設の増加(賑わい創出)」、「外出機会(意欲)の増加」の順で高くなった。



# アンケート調査

## ④ 新駅が設置されるとすれば、なにが心配か [複数回答]

新駅の設置に伴う心配事として、「交通量の増加」の割合が44.8%と最も高く、次いで「放置自転車」、「治安や防犯」の順で高くなった。



# 基本合意書

令和4年11月1日

- 西宮市、尼崎市、阪急電鉄株式会社の3者
- 新駅設置等を通じ、
  - 阪急神戸線武庫之荘駅～西宮北口駅間の武庫川橋梁周辺地域のより良い地域社会の形成及び持続的発展
  - 環境に配慮した公共交通の利便性向上を目指すことを目的とする

# えきまちづくり勉強会

令和5年



# えきまちづくり勉強会での主な意見

令和5年

- ・今の景観（武庫川、緑、閑静な住宅地）を残した街の姿としたい。
  - ・子育てがしやすく、便利で活気のある街。
  - ・生活利便施設（コンビニ、スーパー、文房具店等）、文化施設（図書館、スポーツステーション等）、医療福祉施設（病院、保育所、地域包括センター等）、飲食店（カフェ等）が欲しい。
  - ・歩きやすく安全な道路、コミュニティバス、ゆっくりできる駅前空間等が欲しい。
- 
- ・交通量の増加（車、自転車、歩行者）に伴う事故や生活環境の悪化が心配。
  - ・土地の価値向上による固定資産税の増加。
  - ・歩行者（通学児童）、自転車の安全な道路空間の確保（ロータリー、踏切含む）
  - ・駐輪場の確保、放置自転車対策

武庫川の豊かさを  
より感じられるまちへ



(仮称) 武庫川周辺阪急新駅 エリア  
まちづくりビジョン

2024年(令和6年)7月  
尼崎市

## はじめに

(仮称)武庫川周辺阪急新駅の周辺は、阪神間の都市部にありながら、良好な自然景観が残る住宅エリアであり、西側に阪神間随一の規模を誇る武庫川及び河川敷緑地があり、ウォーキング、サイクリング、スポーツ等での利用がさかんに行われています。

また、エリア内には武庫川を水源に、水路・農地が広がり、本市の尼崎市都市計画マスタープラン(立地適正化計画)においても当エリアは「緑ある空間に囲まれて暮らせるゾーン」に位置づけており、落ち着いた住環境を形成しています。人口については、若者等の単身世帯の流入はあるものの、子育て世帯の転出が超過する傾向にあり、全市的な傾向と同様となっております。

新たな鉄道駅の設置は交通の利便性が向上するだけでなく、駅を中心に周辺地域の社会基盤整備を進め、駅周辺の土地利用等を誘導・再生することにより都市の持続可能な発展に寄与します。

今後、全国的にも少子化、高齢化による地域の活力低下が懸念される中、子育て世帯の定住転入や、地域交流の促進を目指すため、これからのエリアのまちづくり方針として、誰もがまちにおでかけしやすく、生活がしやすい、魅力を伸ばすまちづくりを行っていくことで、武庫川の豊かさを感じながら、より健康的に豊かに暮らせるまちづくりを進めて行く必要があります。

## はじめに

(仮称)武庫川周辺阪急新駅の周辺は、阪神間の都市部でありながら、良好な自然景観が残る住宅エリアであり、西側に阪神間唯一の規模を誇る武庫川及び河川敷緑地があり、ウォーキング、サイクリング、スポーツ等での利用がさかんに行われています。

また、エリア内には武庫川を水源に、水路・農地が広がり、本市の尼崎市都市計画マスタープラン(立地適正化計画)においても当該エリアは「緑ある空間に囲まれて暮らせるゾーン」に位置づけられており、落ち着いた住環境を形成しています。人口については、若者等の単身世帯の流入はあるものの、子育て世帯の輸出が超過する傾向にあり、全体的な傾向と同様となっております。

新たな鉄道駅の設置は交通の利便性が向上するだけでなく、駅を中心に周辺地域の社会基盤整備を進め、駅周辺の土地利用等を誘導・再生することにより都市の持続可能な発展に寄与します。

今後、全国的にも少子化、高齢化による地域の活力低下が懸念される中、子育て世帯の定住転入や、地域交流の促進を目指し、これからのエリアのまちづくり方針として、誰もが暮らしやすく、生活がしやすい、魅力を伸ばすまちづくりを行っていくことで、武庫川の豊かさを感じながら、より健康的に豊かに暮らせるまちづくりを進めて行く必要があります。

## (仮称)武庫川周辺阪急新駅エリアの特色・課題

### 【人口】

-若者世代の流入、子育て世帯の転出傾向がある

### 【交通】

- 車の交通は、西宮方面等へ向かう通過交通が多い
- 路線バスの運行はあるが、便数が少ない
- 鉄道駅(阪急武庫元荘駅等)まで距離があり、一部が公共交通空白地帯
- 通過交通のエリア外への誘導や小学校通学路の安全対策が課題

### 【施設・交流】

- スーパーやクリニックなどの生活利便施設が少ない
- 交流できる施設がなく、地域の活動やコミュニティの場づくりが行いにくい

### 【環境・安全】

- 良好な自然景観が残っており、都市農地等の保全も重要
- 武庫川河川敷緑地へアクセスしにくい
- 武庫川の洪水浸水想定区域内であり、防災面での視念も必要



## (仮称)武庫川周辺阪急新駅に期待すること・心配すること

### 【新駅に関するアンケート調査(令和4年度実施)】

新駅が設置された場合に期待することとして、「交通利便性の向上」が特に多くのご意見をいただきました。

また、新駅が設置された場合に心配なことは、「交通量の増加」、「放置自転車」、「治安や防犯」の順で回答が多くありました。

### 【えきまちづくり勉強会(令和5年度実施、全4回)】

まちづくりを考える勉強会を開催し、「鉄道駅周辺のまちづくり」や「えきまちづくり-まちづくり」「交通・安全」「公園緑地など公共空間での過ごし方」の4つのテーマについて、講師からの事例紹介と参加者による意見交換を行いました。

#### <主な意見>

- 武庫川、緑、閑静な住宅地と利便性の両立
- 子育てがしやすく、便利で活気のある街
- 生活利便施設、文化・医療施設等が欲しい
- 歩きやすく安全な道路
- 駅前空間でゆっくり過ごしたい



## まちづくりビジョン(詳細は次面に記載)

エリアの課題、地域住民の意見等を踏まえ、新駅の設置を主軸とした目指す街のビジョンを定めます。

「これからも強い、豊かに暮らせるまちづくり-地域交流を促進し、人が“つど”まち-」

周辺の特徴・課題を整理

アンケート  
えきまちづくり勉強会  
の内容を整理

# まちづくりの方針（ビジョン）

---

これからも憩い、  
豊かに暮らせるまちづくり

～地域交流を促進し、  
人が“つどう”まち～

## まちづくりビジョン：これからも憩い、豊かに暮らせるまちづくり ~地域交流を促進し、人が“つどう”まち~

### まちづくりビジョンの考え方

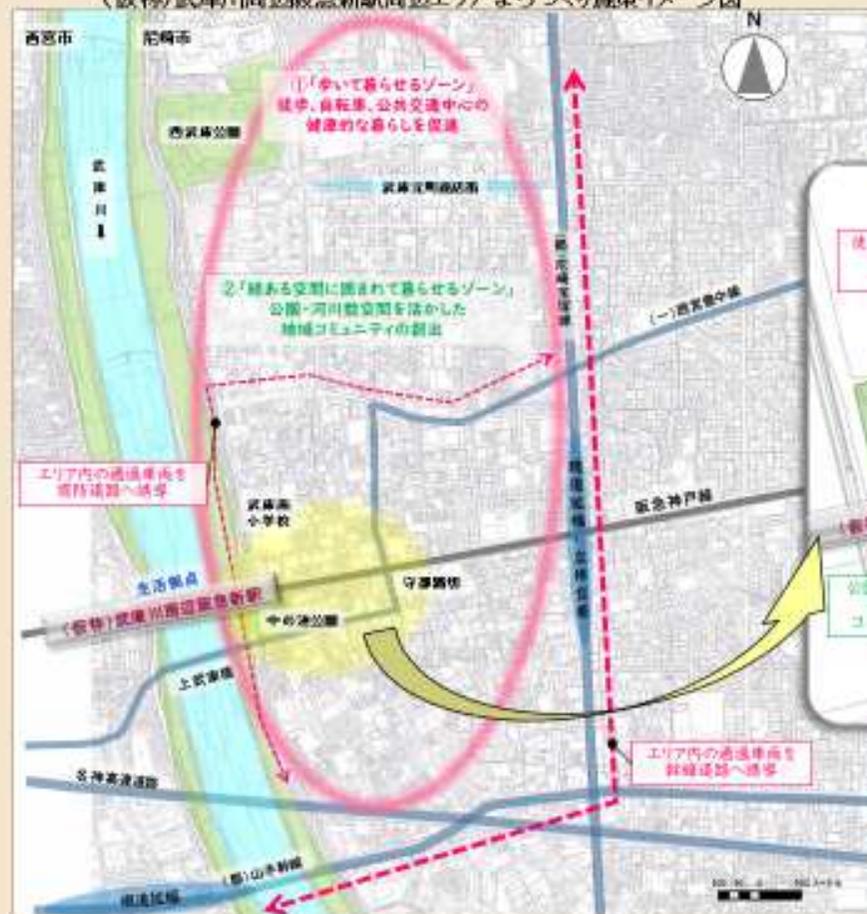
(仮称)武庫川周辺阪急新駅周辺エリアは、都市機能誘導区域に準じる区域として「生活拠点」(※)として位置づけ、「交通利便性を高め、良質な生活空間の形成を図る」区域としてまちづくり施策を展開していきます。

当地区は「歩いて暮らせるゾーン」かつ「緑ある空間に囲まれて暮らせるゾーン」(※)に位置づけられており、都市緑地、都市農地等の身近な自然がある地域の特色を活かしながら、「生活拠点」としてまちづくり施策を進め、誰もがまちにおでかけしやすく、生活がしやすい、魅力を伸ばすまちづくりを行うことにより、憩い、豊かに暮らせるまちづくりを進めていきます。

### まちづくり施策

- ①「歩いて暮らせるゾーン」として、ウォーカブルな(歩きたくなる)まちづくりを展開します。  
→徒歩、自転車、公共交通中心の健康的な暮らしを促進
- ②「緑ある空間に囲まれて暮らせるゾーン」として、都市緑地、都市農地等の身近な自然がある地域の特色を生かしたまちづくりを展開します。  
→公園・河川敷空間等を活かした地域コミュニティの創出

(仮称)武庫川周辺阪急新駅周辺エリアまちづくり施策イメージ図



主な周辺整備イメージ図

※詳細は今後変更・追加する可能性があります



後路北側道路



中の津公園



後路南側道路

# まちづくりビジョンの考え方

(仮称) 武庫川周辺阪急新駅周辺エリアは、都市機能誘導区域に準じる区域として「生活拠点」(※尼崎市都市計画マスタープラン(立地適正化計画))として位置づけ、「交通利便性を高め、良質な生活空間の形成を図る」区域としてまちづくり施策を展開

当地区は「歩いて暮らせるゾーン」かつ「緑ある空間に囲まれて暮らせるゾーン」(※)

に位置づけており、都市緑地、都市農地等の身近な自然がある地域の特色を活かしながら、「生活拠点」としてまちづくり施策を進め、誰もがまちにおでかけしやすく、生活がしやすい、魅力を伸ばすまちづくりを行うことにより、**憩い、豊かに暮らせるまちづくり**を進めて行きます。

# まちづくり施策

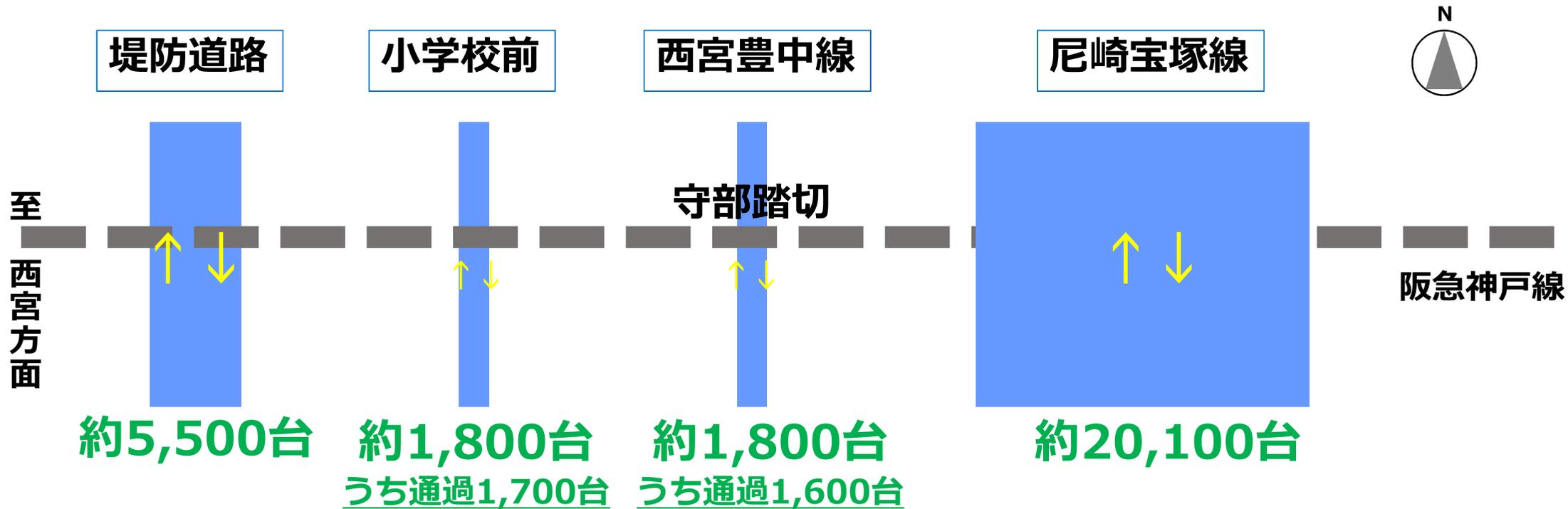
- ① 「歩いて暮らせるゾーン」として、  
ウォーカブルな（歩きたくなる）まちづくりを展開します。  
→ 徒歩、自転車、公共交通中心の健康的な  
暮らしを促進
- ② 「緑ある空間に囲まれて暮らせるゾーン」として、都市緑地、都市農地等の身近な自然がある地域の特色を生かしたまちづくりを展開します。  
→ 公園・河川敷空間等を活かした  
地域コミュニティの創出



エリア内の通過車両を  
堤防道路へ誘導

エリア内の通過車両を  
幹線道路へ誘導

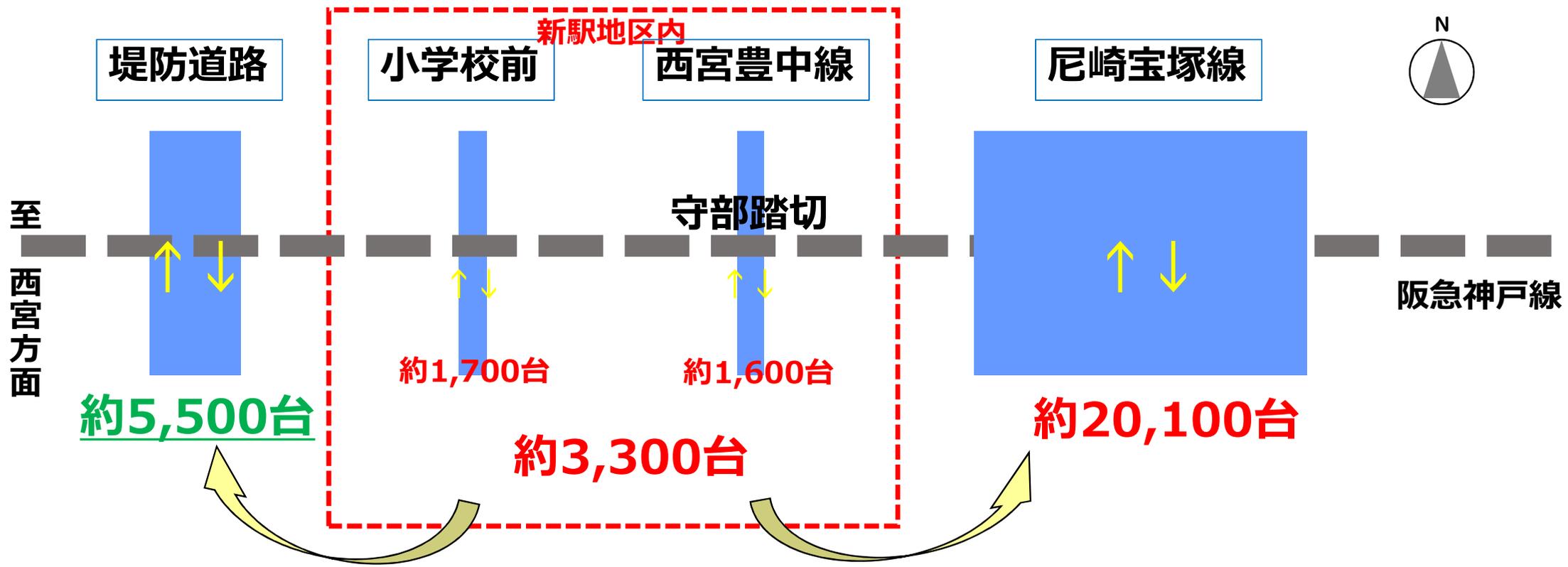
# 周辺の交通状況について 現況交通量（平日昼間）



**うち、約9割が通過車両（転換可能）**  
**→尼宝線、堤防道路へ誘導**

# 周辺の交通状況について

将来交通量（平日昼間）



西宮方面に向かう車を堤防道路に転換させたい

東側、南側に向かう車を尼宝線に転換させたい



① 「歩いて暮らせるゾーン」  
徒歩、自転車、公共交通中心の  
健康的な暮らしを促進

② 「緑ある空間に囲まれて暮らせるゾーン」  
公園・河川敷空間を活かした  
地域コミュニティの創出

エリア内の通過車両を  
堤防道路へ誘導

エリア内の通過車両を  
幹線道路へ誘導

# 主な周辺整備イメージ図

徒歩・自転車を中心とした  
道路空間の整備  
(既存公共用地内)

通学路を中心とした  
道路安全対策の実施

駐輪場の整備  
(高架下空間)

高架下空間等への  
生活利便施設、  
子育て施設の誘致

公園・河川敷空間を  
活かした地域  
コミュニティの創出

(仮称) 武庫川周辺阪急新駅

河川敷緑地への  
アクセスルートの整備

中の池公園を活用した  
緑豊かな駅前空間の整備

武庫南  
小学校

阪急神戸線

